

「蕨市新図書館整備基本方針(案)」に対するパブリック・コメント(意見募集)結果

1. 案 件 「蕨市新図書館整備基本方針(案)」
2. 募集期間 令和8年1月7日(水曜日)～令和8年1月27日(火曜日)
3. 意見の件数 107件 (意見提出者数 20人)
4. 意見等の概要と意見に対する市の考え方

No.1 1件

意見の概要	市の考え方
<p>現在位置の蕨市立図書館で、十二分ではないか、なぜ、駅前再開発事業の高層ビル内に移転する意図、思惑がわからない。</p>	<p>現図書館は、昭和54年竣工のため、施設の老朽化や資料の蓄積に伴う館内の狭隘化等が課題となっており、移転、建て替え等を検討する段階になりつつありました。そのような状況の中、平成30年11月に蕨駅西口地区市街地再開発事業の公共公益施設として、「図書館」及び「行政センター」の複合施設を整備することが決定されました。</p> <p>駅直結の高い利便性によって、より多くの市民が利用しやすくなることで、より満足度の高い図書館にすることができ、また、中心市街地におけるにぎわいの創出に寄与できるものと考えております。</p> <p>なお、図書館が移転することで南町地区にお住まいの方の利便性を著しく低下させることのないよう、南公民館内に新たに南町分館を整備し、図書を閲覧できるスペースを設けるほか、予約された図書資料の受け渡し業務や返却ボックスの設置といった他の分館と同様のサービスを展開する予定です。</p>

No.2 1件

意見の概要	市の考え方
<p>いつも図書館を利用させていただいております。図書数が多く、スタッフの方が親切で快適な読書生活を送っています。また、「新着図書あんない」を読むのが毎月楽しみです。いつも本当にありがとうございます。</p> <p>このたび、「蕨市新図書館整備基本方針(案)」を拝読しぜひとも導入していただきたいサービスがありメールいたしました。そのサービスは「読書通帳」です。読書通帳とは、銀行の通帳のように機械に通帳を入れると、借りた書籍の情報が印字されます。導入していただきたい理由は、手軽に読書記録を残したいからです。今は「貸出期限票」を切り取り、ノートに貼り付けて読書記録を残しています。あっという間にノートが埋まってしまうので、コンパクトにできたらいいなと思っています。しかし、課題は導入費用や利用者数が見込めない点があると考えています。通帳の発行は、希望者に有料で発行するというのも良いのではないかと思います。様々なご意見が寄せられているかと思いますがご検討いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>	<p>読書通帳は、読んだ本を記録しておくことで、読んだ本の確認や読書量を把握するツールとして読書活動の推進に役立つものであり、蕨市立図書館では未就学児を対象に、『わたしのよんだ本～読書・よみきかせ手帳～』を作製・配布しております。</p> <p>ご要望のような、銀行の預金通帳のように通帳記帳機で印字する方式の読書手帳については、手軽で良い一方、通帳自体の単価や図書館システムの改修費、専用の印字装置の費用が高額であること、また、自分の本や他の図書館から借りた本等の記録を記帳できないといった課題があります。</p> <p>なお、現在、インターネット上の蕨市立図書館 Web サイトの利用者ページにおいて、図書館で借りた本の履歴を残せる機能を搭載しているほか、令和7年9月より新たにシール式読書記録サービスを開始し、図書館で借りた本の記録をシールで出力できるようになったことで、お持ちのノートに手書きする手間や貸出期限票を切り取って貼り付ける手間が削減できますので、是非ご利用いただければと考えております。</p>

No.3 1件

意見の概要	市の考え方
<p>現在の市立図書館は、国立国会図書館の「図書館向け送信サービス」の参加館となっています。一方で、国立国会図書館の個人送信により自宅から閲覧できる資料も増えていますが、自宅では印刷できない資料もあるため、図書館における印刷ニーズは今後も一定程度高いと考えます。新図書館においては、送信サービスの活用を前提に、印刷を含む利用支援の充実を検討していただきたいと思います。</p> <p>また、調査・学習支援の観点から、商用データベースの導入も図書館サービスとして重要だと考えます。ところが、現状の図書館にはパソコン端末室や端末コーナーなどの利用環境が十分に整っていません。新図書館では、商用データベース等を利用できる端末環境(専用端末、閲覧席、プリント環境を含む)の整備・強化を進めていただきたい。</p> <p>商用データベースは費用を伴うため、導入する種類や提供方法については精査が必要ですが、例えば次のようなものについて、予算との兼ね合いを踏まえつつ段階的な導入を検討していただければ幸いです。</p> <p>・新聞記事:朝日・読売・毎日(各紙 DB)/横断検索(ELNET 等)・経済・ビジネス:日経テレコン(新聞・雑誌・企業情報等)・事典・人物・用語:JapanKnowledge(ジャパンナレッジ)・雑誌記事索引:MagazinePlus(マガジンプラス)・官報:官報情報検索サービス・法令・判例:D1-Law.com、判例秘書 など・企業情報:東京商工リサーチ/帝国データバンク系 など</p>	<p>新図書館においても、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスは継続していく予定であり、印刷については国立国会図書館資料利用規則に職員端末から印刷するよう定められている関係上、印刷を希望される場合は職員に申し出ていただく必要がありますが、気兼ねなく印刷していただけるよう、引き続き利用者への支援の充実を図ってまいります。</p> <p>また、近年のパソコンは個人のアカウントを用いてログインするようになってきており、個人情報保護の観点から図書館でパソコンを用意するのではなく、新図書館ではWi-Fiを導入し、利用者がお持ちのパソコンやスマートフォンを活用していただく形を想定しております。</p> <p>商用データベースの導入については、他自治体の図書館での利用状況や、費用対効果等を総合的に勘案し、今後の調査研究課題とさせていただきます。</p>

No.4 1件

意見の概要	市の考え方
<p>利用対象者が在学・在住・在勤の方としか書いてありませんが、障害者の方の利用方法を書いて下さればありがたいです。例えば、視覚障害者が登録する時に代理登録者を立てることによってより利用しやすくする方法や、デジレーやテープが他の図書館から借りることができる等を詳しく書いてほしいです。</p> <p>その他、藤市や近く(川口市等)に住む外国人がどのように利用することができるのか等を詳しく書いてほしいです。</p> <p>このようなことは既に考えていらっしゃると思いますが、基本方針にわかりやすく盛り込んでほしいと思いました。</p>	<p>この基本方針は、新図書館で新たに始まるサービスや大きく変わる点について分かりやすくお知らせするものとして作成しておりますので、障害者の方への新たな点としてユニバーサルデザインに配慮した設計といった記載はありますが、ご指摘の障害者の方の利用方法についての掲載はありません。障害のある方や外国籍の方も利用対象にももちろん含まれており、新図書館を是非ご利用いただきたいと思っております。</p> <p>また、デジレーのご利用方法や外国籍の方を含めた具体的な利用案内については、利用される全ての方にとって分かりやすいものとなるよう、検討を進めてまいります。</p>

No.5 2件

意見の概要	市の考え方
<p>①夜の21:45まで使えるようにしてほしいです。</p>	<p>新図書館の開館時間については、近隣の類似施設の状況等も踏まえ、平日の閉館時間を現状よりも3時間延長して、21時としました。</p>
<p>②フリーWi-Fiを導入していただきたいです。</p>	<p>調べ物にはインターネットが欠かせない存在となっていることを考慮し、新図書館ではフリーWi-Fiを導入する予定であります。</p>

No.6 1件

意見の概要	市の考え方
<p>新しい図書館について、利用者思いの環境だと思いました。とても楽しみです。</p> <p>図書館付近の車道ですが、こちらは整備されませんか？子供が小学低学年で、現在の図書館まで交差点が多い道路を頑張って自転車で漕ぎ、ようやく辿り着けるのですが、新しくできる図書館付近の道路は、現段階では交通量が多く、子供だけで行かせるのはとても危険です。特にタクシーは飛ばすので危険です。</p> <p>そのため、子供たちも利用するところなので、歩道、自転車専用道路を作る、車の侵入を一部区間を閉鎖するなどを盛り込んでいただけますと親として安心です。よろしくをお願いします。</p>	<p>今回の再開発事業は、蕨駅西口広場から既に工事が終わっているシティタワー蕨がある駅西口地区7番街区(東京方面)へ連続するプロムナードを中心に、商業業務施設、図書館と行政センターの公共公益施設、都市型の住宅施設及び広場等を一体的に整備する計画となっております。</p> <p>具体的には、駅周辺道路を拡幅することで、駅前ロータリーを通行する送迎車やタクシーといった車両の動線がより明確になると同時に、歩道もあわせて新設することで、歩行者の安全性・快適性を図ってまいります。</p> <p>これにより、新図書館付近は自動車が進出出来ない歩道となるほか、自転車も降りた状態で通行いただくことを予定しておりますので、お子様でも安心してご利用いただける施設になるものと考えております。</p> <p>交通には十分ご注意いただいた上で、お出掛けください。</p>

No.7 2件

意見の概要	市の考え方
<p>「蕨市新図書館整備基本方針(案)」に関し、以下の通り意見を提出いたします。</p> <p>①現在の図書館の跡地(予定)について 本方針案の中では、新図書館が駅西口の再開発ビルへ移転した後の「現在の図書館(南町1丁目12-1)」の建物や跡地の活用方法について、具体的な記載が見当たりませんでした。今後どのような用途になるのか、方針をご教授いただきたいです。</p>	<p>現在の図書館の跡地利用については、文化芸術の拠点として活用していくことを検討しておりますが、具体的には市内の蕨市立図書館跡地等活用方針検討委員会で検討を進めていくことになっており、現時点で詳細は未定です。</p>
<p>②分館の設置場所と建物の継続利用について 方針案では分館のあり方について検討されていますが、現在の図書館の場所が公民館などへ集約・移転されるのではなく、できれば現在の建物を活用し、その場所に分館として存続させてほしいと考えています。 長年親しまれてきた場所・建物であるため、現存の施設を活かした形での再整備を強く希望します。</p>	<p>分館については様々な面から検討を重ね、最終的に皆さんに分かりやすく身近な施設である南公民館内に設置することを決定しました。</p> <p>現図書館の建物については、昭和54年竣工であり、令和8年1月の時点で築46年となっております。蕨市では、蕨市公共施設等総合管理計画において、公共施設については長寿命化を実施することで耐用年数を70年としているところであり、現図書館はあと20年強は利用できる見込みではありますが、外壁の痛みや雨漏りをしている箇所もあるため、大規模改修を施して現施設を維持していくのか、または完全に建て替えをするのか等、様々な方策について検討委員会で検討してまいります。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>ようやく基本方針が明らかになりました。字が多過ぎて読む気になれない、うんざりするといった意見もありますが、何かを説明し、理解を求めるためには、ある程度の文字数や文章が必要なのではないかと私は考えます。</p> <p>①全体的に眺めると5つの特色を色別に挙げ、それに沿ったレイアウトになっているので分かりやすいと感じました。この頃の自己啓発やハウツー本等では、一番伝えたい箇所に予め色マーカーの様な線引きがされています。別紙のように際立たせると読んでもらえるのではないでしようか。</p>	<p>文中における重要事項を色マーカーで線引きし、視覚的に見易くするというご提案について、今後の各種文書作成時の参考とさせていただきます。</p>
<p>②今回の基本方針では、駅利用者の利便性が強調されていますが、市内在住者に向けてのメリットが薄いように感じます。Wi-Fi など最先端サービスを提供できる図書館に生まれ変わるのだから利用したければ駅前にということで済ませないでほしいと思います。</p>	<p>図書館の位置については、駅前・市の中心部・駅から離れた場所など、それぞれ一長一短がありますが、蕨駅の近くに移転することによって、駅利用者はもちろん、コミュニティバスぷらっとわらびの全てのルートの発着点ともなることから、今までルートによっては、乗り換えをしていたのが不要となるなど、ぷらっとわらび利用者も来館しやすくなります。</p> <p>また、図書館が移転することで南町地区にお住いの方の利便性を著しく低下させることのないよう、南公民館内に新たに南町分館を整備し、図書を閲覧できるスペースを設けるほか、予約された図書資料の受け渡し業務や返却ボックスの設置といった他の分館と同様のサービスを展開する予定です。</p>
<p>③市内に住む高齢者、障害者、外国人居住者などに向けたサービスはどうするのか。また、ほとんど手つかずで分館という名の本を置いてあるだけの場所での貸し出し、返却管理をどうするのか等々、まだまだ課題はたくさん残されています。</p> <p>財政が厳しい所ではあると思いますが、せっきく運営を市の直営にしたとのことですから、駅前で終わりにせず、これを皮切りに市内の図書館整備行政を進めてほしいと切に願います。</p>	<p>新図書館の基本理念を「子どもも大人も ほっとプレイスで知的探求の喜びを」と定め、子どもから大人まで、もちろん、高齢の方、障害をお持ちの方、外国籍の方も含めた全ての利用者に「ほっとプレイス」を提供し、豊かなときを過ごしていただきたいと考えております。</p> <p>駅前への移転が完了した後も、図書館サービスの更なる向上に向け、調査研究を継続してまいります。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>南公民館内に図書館分館を設置する計画とのことですが、現状の施設規模を考えると、スペースが手狭になるのではないかと懸念しております。また、南公民館利用者や南町地域住民に対して、事前説明や意見聴取の機会が十分に設けられているのか疑問を感じております。</p> <p>整備にあたり、特に以下の点について配慮・説明をお願いしたいと考えます。</p> <p>①南公民館で活動している各団体の利用や活動が制限されないよう、十分なスペース確保と運営配慮をしていただきたい。</p>	<p>南町分館の整備にあたりましては、現在南公民館で活動されている利用者に不便にならないよう配慮して、南公民館の2階ラウンジの一角に書架及び閲覧席を設置する予定であります。</p>
<p>②新図書館は南町(特に西川口駅利用者)からのアクセスがあまり良いとは言えません。加えて、子どもたちの学区外への移動は極力避けたいと考えています。分館においても、現市立図書館のように子どもが安心して過ごせる居場所・学習スペースを確保していただきたい。</p>	<p>南町分館においては、図書を閲覧できるスペースを設けるほか、予約された図書資料の受け渡し業務や返却ボックスの設置といった他の分館と同様のサービスを展開する予定であり、分館を利用する方の居場所や、学習スペースは確保してまいります。</p>
<p>③現市立図書館の今後の活用方針についても、具体的な計画を示していただきたい。</p>	<p>現在の図書館の今後の活用方針については、文化芸術の拠点として活用していくことを検討しておりますが、具体的には庁内の蕨市立図書館跡地等活用方針検討委員会で検討を進めていくことになっており、現時点で詳細は未定です。</p>
<p>④新市立図書館の自転車置き場・駐車場は店舗利用者との共用とのことですが、法的基準だけでなく、実際の利用状況を踏まえた十分な台数が確保されているのかご説明いただきたい。特に子供たちが安心して利用できる整備計画をお願いしたい。</p> <p>地域住民や既存利用者が安心して利用できる図書館整備となるよう、丁寧な説明と検討をお願い申し上げます。</p>	<p>駐車場・駐輪場については、限られたスペースの中で効率よく提供できるよう努めてまいります。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>新図書館整備にあたり、以下を希望します。</p> <p>① 図書の貸出(特に新刊図書)は、市内居住者優先にしていきたい。蕨市立図書館は新刊図書の購入数が他市と比較すると少ないため、他市(川口市、さいたま市、戸田市等)の利用者によって市民が貸出が遅くなる可能性があるため。</p>	<p>蕨市は、公共施設を利用する住民の皆様の利便性の向上と公共図書館サービスの増大に寄与することを目的に、さいたま市、川口市、戸田市、草加市と「広域利用に関する協定」を締結しており、それぞれの市の住民と同じ様に貸出利用できるとなっておりますので、他市にお住いの利用者に限って図書の貸出を遅らせるといった対応をとることは難しいものと認識しております。</p>
<p>② 座席予約について</p> <p>②-1 市民の利用を優先していただきたい。駅に近い図書館のため、他市の利用が増える可能性があるため。</p>	<p>新図書館は駅前という立地になることで多くの利用者が見込まれることから、できるだけ多くの方が公平に閲覧席を利用できるよう、座席予約システムを導入する予定であります。市民の利用を優先にとのことですが、システムで市民優先と対応するのか、また、既に座席予約システムを導入している近隣市の図書館では、他市の利用者も同条件で利用できていることを踏まえ、総合的に検討してまいります。</p>
<p>②-2 長時間の利用を避けるようにしてほしい。なかなか予約できないということは避けていただきたい。</p>	<p>座席予約システムの選定にあたっては、ご要望に沿うような機能を有するものを優先してまいりたいと考えております。</p>
<p>②-3 事前に座席予約をしなくても利用できる席はある程度の数を確保してほしい。図書館に行った際に座ることができる席が全て予約であると座る場所がなく不便。</p>	<p>新図書館では、全ての席に予約システムを導入するのではなく、読書室、閲覧・学習エリア、グループ学習室の3か所に限定して導入しようと考えております。新聞・雑誌ラウンジ、一般開架、子どもエリア、YAエリア、郷土資料・参考図書のエリアの席は予約が不要な自由席にするほか、一般開放時の集会室も自由席にすることで、なるべく多くの席の確保を図ってまいります。</p>
<p>③ 資料の購入希望について。</p> <p>③-1 購入希望方法をオープンにしてほしい(図書館 HP 等にのせる)。</p>	<p>資料の購入希望方法については、蕨市立図書館のホームページに掲載しており(蕨市立図書館 > サービス案内 > 未所蔵資料の貸出)、本館1階カウンターにてご希望をお寄せいただいております。</p>
<p>③-2 資料の購入希望を、来館して紙で依頼するのではなく、電子で依頼できるようにしてほしい。</p>	<p>電子メールやホームページのフォームを活用する等により、電子での依頼に対応できるよう検討してまいります。</p>
<p>③-3 資料の購入希望は市民限定にしてほしい。</p>	<p>蕨市立図書館に所蔵されていない資料のリクエストについては、市民限定のサービスとしております。</p>
<p>③-4 希望した場合に、購入可否およびその理由、入荷時期の連絡がほしい。</p>	<p>リクエストをいただいた資料の購入可否については、蕨市立図書館選書基準に従って、予算も考慮して判断しており、購入可否の理由を個別でお答えするといった対応はしておりません。選書基準は当館のホームページに掲載しておりますので、ご参照いただければと思います(蕨市立図書館 > 事業案内 > 図書館の運営 > 蕨市立図書館選書基準・除籍基準)。</p>
<p>④ 開館時間を9時にしてほしい。特に、夏は10時開館では暑いので。</p>	<p>新図書館の開館時間については、近隣の類似施設の状況等も踏まえ、現施設と同じく、平日は午前10時開館といたしました。なお、現状、土日祝日は午前9時開館としているほか、小・中学校の夏季休業期間は平日も午前9時開館としているところであり、新図書館移転後も同様の取り扱いにすることができかどうか、今後検討してまいります。</p>
<p>⑤ レファレンスサービスを充実してほしい。調べ学習、地域資料ほか、資料について相談できるスタッフを配置してほしい。</p>	<p>レファレンスサービスについては、新図書館でも継続し、ご相談に対して適切に対応することができるよう、努めてまいります。</p>

<p>⑥図書館のイベント、新着図書等の情報を、市のLINE等で広く広報してほしい。市報だけでは不十分のため。</p> <p>新図書館によって蕨市がより活性化することを期待しています！ 以上</p>	<p>蕨市立図書館で実施している各種イベントの広報については、蕨市の公式LINEにも掲載するよう、担当部署へ依頼しております。ただし、どのイベントを公式LINEに掲載するかは市の判断となりますので、全てのイベントが公式LINEで送信されるわけではないことをご承知おきください。また、新着図書の情報については、現状、公式LINEに依頼はしていませんが、今後の検討課題といたします。</p>
--	---

No.11 3件

意見の概要	市の考え方
①現在の図書館をどのように活用していくのか。市民が利用できるコミュニティスペースになると思う。	現図書館の跡地利用については、市内の蕨市立図書館跡地等活用方針検討委員会で検討を進めていくことになっており、現時点では未定です。
②絵本・紙芝居など、児童向けの図書が多いことが蕨の図書館の良いところだと思うが、新図書館でも児童コーナーの充実を望む。	新図書館においても、引き続き絵本や紙芝居の購入や展示等を継続し、児童書コーナーの充実を図ります。
③南公民館に分館を作ると聞いたが、蔵書の管理はどうなるのか？今、他の公民館にある分館で借りようとしても、ネット検索ではあることになっていても、実際には無かったりすることがある。IC化は分館にも対応させるのでしょうか。	蔵書の管理については、現時点では分館の資料にICタグを貼付し、資料を管理するかは未定ですが、利用者の利便性向上のために検討してまいります。

No.12 1件

意見の概要	市の考え方
<p>駅直結は、電車を使う人には便利ですが、今の立地は車での行き来に便利です。</p> <p>電車を使わない私は、現図書館を分館として残すことを希望します。</p>	<p>現図書館も駐車場が5台分しかなく、しかも狭いため、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。新図書館においても立地上、全ての皆様が満足されるものを用意するのは難しい状況ですが、より良いものとなるよう検討してまいります。</p>

No.13 5件

意見の概要	市の考え方
①駅近ということもあり、外国人やマナーを守らない人たちによって治安(大声で話す、走り回る等)が悪くなるのが心配。	図書館利用者が快適に利用していただくため、マナー向上を図れるよう利用者に周知・喚起を図ってまいります。
②窓側だけでもいいので学習エリア、閲覧エリアに電源タップと仕切りが欲しいです。読書室は全席に電源タップと仕切りが欲しいです。	電源と仕切りについては、必要であると認識しておりますが、具体的には、今後の検討課題といたします。
③席の予約システムはどここの範囲までで、何時間単位なのかをきちんと明示してほしい。グループ学習室だけなど、特定のエリアだけでいいかと思えます。	現時点で座席予約システムについては、利用対象者や利用時間等を決定しておりません。今後、決定次第周知させていただきます。新図書館は今まで以上に多くの方の来館が想定されることから、予約式の席は利用頻度が高いエリアに限定して実施したいと考えております。
④現図書館は今後どのように活用するのか。個人的に現図書館の立地が気に入っているので、なくす！ということはやめて欲しかったです。	現図書館の跡地利用の検討については、市内の蕨市立図書館跡地等活用方針検討委員会で検討を進めていくことになっており、現時点では未定です。
⑤月曜開館、平日の時間延長は純粋にうれしいです。夏休み期間の開館閉館時間は現図書館同様、土日祝に準ずるのでしょうか？そのあたりも周知してほしいです。	現時点で、平日の開館時間を延長することは決定しておりますが、夏季休業期間の開館時間については、現図書館と同様の取り扱いにすることができるかどうか、今後検討してまいります。

No.14 3件

意見の概要	市の考え方
<p>①本棚に取り出ししやすいように傾斜をつけていただきたい。下段の本を見るのにも見やすくしてほしいと思います。本の並びも楽しみにしています。親子で本を見るのに斜めになっていると親子がいっしょに同じ目線で見られるのがいい。</p>	<p>本を斜めに置ける書架については、メリットデメリットを今後検討してまいります。</p>
<p>②本棚の近くに一人用のいすがあると内容が確認できていいと思う。</p>	<p>書棚のそばにはスツール(背もたれのない椅子)を配置します。</p>
<p>③イメージ図は明るくて広い感じがしていいですね。車イスの移動も簡単にできるみたいでステキです。今から心ワクワクです。</p>	<p>新図書館では、基本理念を「子どもも大人も ほっとプレイスで知的探求の喜びを」と定め、新しいことを知る、まさにワクワクしていただくことを大切にしていきたいと考えております。</p>

No.15 6件

意見の概要	市の考え方
<p>①図書館が蕨市直営であることは良かった。</p>	<p>新図書館の運営については、蕨市直営といたしました。今後もより効率的、効果的な運営体制等を調査研究してまいります。</p>
<p>②階段が苦手な人がアクセスしやすいと良い。図を見るとエレベーターが直結しているようだが、駅や他の施設からのアクセスも考慮して欲しい。エレベーターやエスカレーターがあっても段差が1段でもあるときつく、その場合はスロープがあるといい。</p>	<p>新図書館が入る建物までは、駅の2階から直結のペDESTリアンデッキでつながることになっており、途中に高低差があるため、スロープになっている部分も多少ありますが、バリアフリーを基本としており、利便性は高いと考えております。</p>
<p>③レファレンスに期待している。楽しみとしての読書推奨はもちろんだが、品切や高価格で個人では購入できない事典、図鑑、資料にいつでもあたれることを希望する。例えば離れた建物の書庫から何日もかかって取り寄せるのではなく、なるべくならその場で閲覧できるようだと助かる。</p>	<p>レファレンスについては、今後も調査研究に有用な資料の収集を継続して行い、サービスの充実を図れるよう努めてまいります。</p>
<p>④市で所蔵していない資料にアクセスする方法があるといい。国立国会図書館や県立図書館の資料の館内閲覧または電子版の館内閲覧など。</p>	<p>現図書館においても、蕨市に所蔵がない資料については、蕨市民に限り、県立図書館を含む県内他館から資料を取り寄せすることができます。また、貴重な資料を閲覧できる国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを実施しております。これらのサービスについては、新図書館移転後も継続してまいります。</p>
<p>⑤今の図書館も小さくなったとしても分館として残してもらおうと近隣の利用者にとってはありがたい。開ける日時に制限があったとしても、無くなってしまうよりは良い。</p>	<p>現図書館の跡地利用の検討については、庁内の蕨市立図書館跡地等活用方針検討委員会で検討を進めていくことになっており、現時点では未定です。</p>
<p>⑥開館時間が長いのは利用者からはありがたいが、開館するのであれば夜遅い時間であってもコピーやレファレンスなど全てのサービスも行って頂けたら助かる。</p>	<p>コピーやレファレンスサービス等の各種サービスの実施時間については、需要や費用対効果等を総合的に勘案し、今後決定してまいります。</p>

No.16 1件

意見の概要	市の考え方
<p>籠やカート、そして出来れば、荷物を預けるロッカーを用意して欲しいです。数年前から図書の貸出点数が、大人の場合、5冊から10冊に増えましたが、図書館資料の中には、分厚い書籍や大版のものがある一方で、薄手で小さな新書や文庫本、手帳のようなサイズの俳句の句集のようなものもあります。そうした不揃いの図書館資料を5冊手に持った上で、さらに5冊借りたい資料を求めて館内を移動するのは、負担になる場合もあります。特に新図書館が駅に近接し、仕事帰りや学校帰り、買い物帰りに気軽に立ち寄れる利便性を生かすならば、鞆の他にレジ袋程度の手荷物を持った利用者が、更に図書館資料を持って館内を移動する際の利便性も考えてほしいです。そして勿論、杖やシルバーカー、車椅子が必要な利用者、お子様連れの利用者の利便性向上を図り、更には、図書館職員の方々が返却された資料や新着の資料を配架したり、予約の入った資料を集めて回る際の身体的負担を軽減する意味でも、籠やカートはあった方がいいと思います。</p>	<p>ご指摘いただきました籠やカート、荷物を預けるロッカーについては、今後、調査研究してまいります。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>新市立図書館整備に関する意見・提言書(その1)</p> <p>1. はじめに</p> <p>駅前再開発事業に伴い、市立図書館が駅に併設される複合ビル 3 階へ移転する計画が進められていることについて、市民の一人として大きな期待を抱いております。</p> <p>新図書館の基本理念として掲げられている「子どもも大人もほっとプレイスで知的探求の喜びを」という考え方は、現代の図書館に求められる役割を的確に捉えたものであり、高く評価しております。</p> <p>一方で、新施設がこの理念を実質的に実現するためには、建物や設備の新しさのみならず、蔵書構成、利用ルール、運営体制、世代や利用者特性ごとの配慮など、ソフト面を含めた総合的な検討が不可欠であると考えます。</p> <p>以下、新図書館の基本方針および 5 つの特色を踏まえ、市民利用者の視点から確認・検討をお願いしたい事項について意見および提言を述べます。</p> <p>2. 基本理念・コンセプトを支える整備・運営について</p> <p>(1)蔵書数および蔵書廃棄(除籍)基準の明確化について</p> <p>新施設の蔵書保管能力が現行図書館を下回る場合、一定数の図書や資料の廃棄(除籍)が必要となる可能性があります。</p> <p>図書や資料は市の重要な財産であることから、以下の点について明確な方針を示していただく必要があると考えます。</p>	<p>現在の収蔵量は約 20 万点であり、新図書館では 1 割程度増やせる設計となっておりますが、資料の更新のほか劣化や雑誌の保存期限満了等、様々な理由に伴う除籍は必ず発生します。蕨市立図書館の除籍基準は、ホームページ上で公開しております(蕨市立図書館 > 事業案内 > 図書館の運営 > 蕨市立図書館選書基準・除籍基準)。</p>
<p>① 除籍基準の明文化および市民への公開</p> <p>② 図書館職員のみならず、学識経験者等を含めた検討体制の構築</p>	<p>除籍に限らず、図書館の業務については司書職員を中心に運営されており、また、図書館の運営等に関して助言する諮問機関として、市民や学識経験者等で構成する図書館協議会が設けられています。なお、協議会の資料や会議録等は、図書館のホームページでご覧いただけます(蕨市立図書館 > 事業案内 > 図書館の運営 > 蕨市立図書館協議会)。</p>
<p>③ 歴史的・地域的価値のある資料についての保存方策(分散保管等)の検討</p> <p>恣意的な判断と受け取られることのないよう、透明性と説明責任を確保する仕組みが重要であると考えます。</p>	<p>郷土資料については、利用者が蕨市について調べたいときにすぐ手に取って閲覧できるよう、基本的に開架とする考えですが、ご指摘のとおり歴史的・地域的価値のある資料ですので、特に重要な資料については閉架に保管する等の対応を取っております。</p>
<p>(2)今後の図書・資料の選定基準について</p> <p>「サードプレイス」としての図書館機能を実現するためには、空間設計のみならず、今後整備される蔵書内容が基本理念と整合していることが重要です。</p> <p>①年代別(児童・中高生・一般・高齢者)に配慮した選定方針</p>	<p>蕨市立図書館の選書基準は、ホームページ上で公開しております(蕨市立図書館 > 事業案内 > 図書館の運営 > 蕨市立図書館選書基準・除籍基準)。</p>

<p>②学習・調査・余暇など多様な利用目的への対応</p>	<p>学習や調査の役に立つよう、蕨市立図書館選書基準や多くの公共図書館が利用している日本十進分類法等も参考に、全ての分類を網羅できるよう蔵書管理しております。また、余暇に対しては雑誌、小説等の文学、趣味の参考書、ライトノベル、絵本や児童文学等を充実させており、更に新図書館ではマンガの収蔵も改めて検討しているところです。</p>
<p>③紙媒体と電子資料の役割分担の整理</p> <p>外観や空間だけでなく、蔵書構成そのものが理念を体现するものとなるよう、選定基準の検討および共有をお願いしたいと考えます。</p>	<p>蕨市立図書館では電子図書館サービスを提供しており、一般書籍や絵本、雑誌など、令和6年度末日時点で、合計 6,982 冊の電子書籍籍を、スマートフォンやタブレット、パソコンを使って、いつでも、どこからでも、ご覧いただけます。雑誌については、1冊あたり同時に20人までアクセスできるほか、角川つばさ文庫や青い鳥文庫などの人気の児童書451冊や、夏目漱石、宮沢賢治などの名作500冊、旅の情報誌「るるぶ」の電子版25冊については、人数制限がなく、同時に何人でもアクセスできるので、学校での朝読書や旅先などでも使っていただいております。紙媒体の図書ではできないサービスを展開出来ております。</p> <p>今後も、利用者の皆さんのニーズを踏まえながら、紙媒体の図書はもちろん、電子図書館サービスも充実させていきたいと考えております。</p>
<p>3. 駅直結・複合施設としての利便性と安全性について</p> <p>(1)駐輪場および雨天時対策について</p> <p>駅直結という利点を十分に活かすためには、短時間利用者や高齢者、子ども連れの利用者への配慮が重要です。</p> <p>①駐輪場の利用条件(無料・有料)の考え方</p>	<p>駐輪場については、新たに360台が整備される予定となっておりますが、図書館利用者専用の駐輪場ではなく、行政センターや商業施設の利用者との共用になります。そこで、駅前という立地上、駅利用者を含めて、様々な方がご利用になることが想定されますので、基本的には有料になると想定しておりますが、近隣の「文化ホールくるる」等のように施設利用者は最初の数時間を無料にするという事例も参考に、図書館利用に係る一定の利用時間を無料にできるよう、検討してまいります。</p>
<p>②傘置き場の設置や床面の濡れ防止対策</p>	<p>現図書館においても、雨天時に図書館の床面が濡れて利用者に危険とならないよう、あわせて館内の資料保護の観点からも、傘用のビニール袋を入口に設置しているところであり、新図書館でも同様の取り扱いとする予定であります。また、傘立てについては、盗難防止の観点も含めて検討します。</p>
<p>③雨天時における安全な動線計画</p> <p>これらは日常的な利用のしやすさに直結する重要な要素であると考えます。</p> <p>特に、通勤・通学以外の目的で来館する利用者にとって、無料で利用できる駐輪場の有無は、来館の可否を左右する重要な条件であると考えます。</p> <p>駅利用者との公平性や回転率への配慮を踏まえつつも、図書館利用者の利便性を確保する観点から、無料利用を前提とした駐輪場整備についての検討をお願いします。</p>	<p>駅の2階部分から施設へとつながるデッキには一部屋根を設け、また、図書館のある3階に上がる外階段のほかに、エレベーター、内階段を設ける等、雨天時の動線についても配慮しております(駐輪場の無償化については、上記「3.(1)①」の市の考えをご参照ください)。</p>

<p>(2)防音対策の事前検証について</p> <p>施設の東側が線路に近接していることから、列車通過音や駅構内アナウンス等による騒音の影響が想定されま す。</p> <p>① 想定される騒音レベルの測定および予測</p>	<p>図書館が入る線路側のB棟の線路に近接する東側は図書館職員等の執務エリアで図書館利用者エリアはそこから少し離れた反対面の西側となります。</p> <p>3階の図書館位置に近い外部騒音測定(総合騒音昼間(設備含む)+鉄道騒音)の結果は以下のとおりで、利用者のエリアとなる西側は東側より20db程度小さい値となっています。</p> <p>東面:81~82dB(JR線路側) ※聴覚的にうるさい音 西面:63~67dB(B棟前広場側) ※聴覚的に普通の音 南面:72~78dB(7番街区・くるる側)※聴覚的にうるさい音 北面:73dB(駅舎側) ※聴覚的にうるさい音</p> <p>この結果から騒音レベルを予想し、サッシ等の遮音性能を設定しています。</p>
<p>② 図書館に求められる静粛性の基準設定</p>	<p>図書館内の室内騒音許容として定められている40~45dB程度を目標値としています。※聴覚的に静かな音</p>
<p>③壁・床・天井等における防音・吸音対策</p>	<p>吸音対策として、床材はタイルカーペット、天井材はボード材仕上げを基本としています。また、集会室等は、防音対策として、ガラスの間仕切りにて遮音を行います。</p>
<p>④静かな閲覧エリアと賑わいエリアのゾーニング</p> <p>開館後の問題を防ぐためにも、事前の十分な検証が必要であると考えます。</p>	<p>基本方針の4ページに記載しております新図書館の平面図をもとに説明します。新図書館では入口を突っすぐ図面の下側に新聞・雑誌ラウンジがあり、またコーヒーや軽食を楽しめるようカフェコーナーを一体的に整備します。新聞・雑誌ラウンジの図面の右側に子どもエリアがあり、カフェや子どもエリアは音や声が出ますが、YAエリア、一般開架、郷土資料・参考図書、読書室と図面の右奥に進むにしたがって静寂なエリアになるよう配慮した設計となっております。</p>
<p>(3)防災および防犯対策について</p> <p>本施設は、1日の乗降者数が10万人を超える駅に隣接する立地であることから、従来の図書館と比較して来館者数の増加が見込まれます。</p> <p>そのため、不特定多数の利用を前提とした、かつ図書館の特性に配慮した防災および防犯対策が必要であると考えます。</p> <p>具体的には、以下の点についての検討状況を確認したいと考えます。</p> <p>①地震・火災等の災害発生時における避難誘導計画および動線設計</p> <p>②駅や複合ビル全体との連携を踏まえた防災管理体制</p> <p>③館内および共用部における防犯カメラ設置や死角対策</p> <p>④児童や学生、高齢者が安心して利用できる見守り体制</p> <p>⑤開館時間延長に伴う夜間の安全確保策</p> <p>多くの人が行き交う立地であるからこそ、安心して「ほっと過ごせる」図書館となるよう、十分な検討をお願いしたいと考えます。</p>	<p>新図書館は、各種法令に適合し、災害発生時に対応し得る十分な通路幅や諸設備を確保した設計となっており、定められた避難・緊急通報等の訓練や点検等も、現図書館と同様に実施してまいります。</p> <p>今後設置される建物全体の管理組合と連携を図りながら防災管理体制を整えてまいります。</p> <p>防犯や安全対策として、館内および共用部には防犯カメラを設置する予定です。</p> <p>お子様の安全面を考慮し、子どもエリアを職員のいるカウンターの目の前に配置することで、子どもたちの安全性を最大限に配慮したレイアウトとしております。</p> <p>平日の開館時間の延長に伴う夜間の安全確保については、利用者が夜間でも安心してご利用いただけるよう、職員による館内見回り等の対策を講じてまいります。</p>

<p>4. 世代別および多様な利用者への配慮について</p> <p>(1) 児童書コーナーの機能充実について</p> <p>児童書コーナーは、図書館の将来を支える重要な空間です。</p> <p>①授乳やおむつ替えが可能なスペースの確保</p>	<p>子どもエリアの近くに授乳室を設置することで授乳やおむつ替えをしていただけるほか、多目的トイレにもおむつ替えができる機能を設置する予定です。</p>
<p>②ベビーカーでの移動のしやすさ</p>	<p>新図書館では、ベビーカーでご来館される方が快適に図書館をご利用いただけるよう、通路幅を十分に確保しているほか、子どもエリアの脇にベビーカー置き場を設置します。</p>
<p>③子どもが安心して滞在できる見通しの良い配置</p> <p>子どもが「楽しい」と感じながらも落ち着いて読書できる環境整備を期待します。</p> <p>また、設備面の充実に加え、乳幼児を連れた保護者へのソフト面での支援も重要であると考えます。</p>	<p>お子様の安全面を考慮し、子どもエリアを職員のいるカウンターの目の前に配置することで、子どもたちの安全性を最大限に配慮したレイアウトとしております。</p>
<p>④保護者同士が気軽に情報交換できる場や機会の創出</p> <p>⑤読み聞かせ会だけでなく子育て支援関連イベントの実施</p> <p>⑥子どもの安全確保を目的とした見守りボランティアの募集・育成</p> <p>これらの取り組みにより、児童書コーナーが単なる読書スペースにとどまらず、子育て世代にとって心強い居場所となることを期待します。</p>	<p>新図書館では、数人の利用者が集まって情報交換等をしていただける場としてグループ学習室を設置します。あわせて、新図書館における保護者同士の交流機会の創出を目指した企画や子育て支援関連イベント、見守りボランティアの募集・育成等については、今後、調査研究をまいります。</p>
<p>(2) 中高生支援と高齢者配慮の両立について</p> <p>中高生の読書・学習支援が示されている一方で、平日の主要な利用者である高齢者への配慮についても明確に位置づける必要があると考えます。</p>	<p>利用者の目的に応じて、様々なエリアを設定します。具体的には、中高生向けのエリアとして、YAエリアとグループ学習室を設置し、静かな閲覧エリアとして、閲覧・学習エリア、読書室、郷土資料・参考図書コーナーを設置します。</p>
<p>①中高生向けエリアと静かな閲覧エリアの適切な共存</p> <p>②DX化に伴う有人カウンターの継続</p>	<p>新図書館ではDX化に伴うセルフ貸出機の導入を検討しておりますが、付近にこれまで同様の有人による総合カウンターを設置し、対面での貸出等の業務も継続する予定です。</p>
<p>③セルフ機器操作に対する支援体制の整備</p> <p>DXは効率化のみを目的とするものではなく、利用者の選択肢を広げるものとして運用されることが重要だと考えます。</p>	<p>セルフ貸出機付近の総合カウンターに職員を配置し、機器の操作支援を行うことで、機器に不慣れな利用者でも安心してご利用いただけるよう配慮します。</p>
<p>(3) 外国人利用者への配慮について</p> <p>駅直結という立地特性を踏まえると、外国人利用者の来館も一定数見込まれると考えられます。</p>	<p>館内案内表示については、ユニバーサルデザインに配慮した設計となるよう、文字だけでなく絵も用いた表示を設置する予定です。</p>
<p>①館内案内表示の多言語化やピクトグラムの活用</p>	

<p>②利用案内・利用規則の簡易な多言語対応</p> <p>③図書検索端末やホームページにおける言語切替機能</p>	<p>蕨市立図書館のホームページには画面上部にある「Select Language」ボタンを押下することで英語や中国語に切り替わる機能が備わっていますが、資料検索のページにはそのような機能は実装しておりませんので、図書館システムの事業者に要望してまいります。その他の利用案内、利用規則、図書館検索端末における多言語対応については、今後検討いたします。</p>
<p>④日本語学習資料や多文化理解に資する資料の充実</p> <p>外国人利用者にとっても安心して利用できる環境を整えることは、多様性を尊重する図書館づくりにつながると考えます。</p>	<p>外国人の流入が多い県南地区にある蕨市の地域性を鑑みますと、日本語学習資料や多文化理解に資する資料の充実については重要であると認識しておりますので、蕨市選書基準や予算を勘案し、選定してまいります。</p>
<p>5. 運営・管理および移転計画について</p> <p>(1)飲食およびカフェ利用ルールについて</p> <p>くつろぎ空間の創出を目的として飲食機能を導入する場合には、慎重な検討が必要であると考えます。</p> <p>①全館一律ではなく、エリア分けによる運用</p> <p>②消耗品管理や清掃負担の検証</p> <p>③試行期間を設けた段階的な導入</p> <p>「くつろぎ」が必ずしも飲食に限定されない、多様な居場所づくりを期待します。</p>	<p>現図書館においても、水分補給の観点から蓋つきのペットボトルや水筒等を館内どこでもお飲みいただいております。新図書館でも同様の取り扱いとする予定です。ただし、パンやお菓子といった軽食については、新聞・雑誌ラウンジと、一般開放時の集会室に限定したいと考えております。</p>
<p>(2)バックヤードおよび職員動線について</p> <p>利用者サービスの質は、職員の働きやすさと密接に関係しています。</p> <p>①資料搬入・整理動線の効率性</p> <p>②事務スペースおよび休憩スペースの確保</p>	<p>資料搬入・装備作業については、バックヤードで効率的に行えるように設計されております。</p>
<p>③DX機器導入後の業務負担軽減への配慮</p> <p>バックヤードを含めた全体的な施設計画が重要であると考えます。</p>	<p>職員の事務スペースと休憩スペースについては、バックヤードに設置予定です。</p> <p>DX機器導入直後は、職員の直接作業が減る一方、利用者から操作の質問が増えることを想定しておりますが、時間の経過とともに質問が減っていくことで、職員の業務負担も軽減されていくものと考えております。</p>
<p>(3)移転計画および体制について</p> <p>短期間で円滑な移転を実現するためには、明確な体制整備が不可欠です。</p> <p>①移転計画および工程管理を担うプロジェクトチームの設置</p> <p>②庁舎移転時の経験を有する職員の知見の活用</p> <p>③利用者への周知・案内の徹底</p>	<p>図書館移転の実績がある事業者に委託する等、短期間で滞りなく実施できるよう、体制を整えてまいります。</p>
<p>市民サービスに支障が生じないよう、万全の準備をお願いしたいと考えます。</p>	<p>移転に伴う休館期間や、新図書館の開館の日程等については、決定次第、利用者への周知・案内を徹底してまいります。</p>

<p>(4)開館時間延長に伴う要員計画について</p> <p>開館時間が 18 時から 21 時へと延長される予定であることは、通勤・通学者をはじめとする多様な利用者にとって大きな利点であると考えます。</p> <p>一方で、サービスの質と安全性を維持するためには、適切な要員配置が不可欠です。</p> <p>①市職員およびパート職員の配置人数および勤務体制</p> <p>②夜間時間帯における責任体制および緊急時対応</p> <p>③職員の過度な負担とならないための勤務ローテーション</p>	<p>平日の開館時間を 3 時間延長することに伴い、パートタイムの会計年度任用職員を新たに増加採用する等の対策を講じるとともに、責任者も含めた適切な勤務体制となるようにいたします。</p>
<p>④防犯・防災対応を含めた夜間運営の考え方</p> <p>開館時間延長が形だけのものとならず、安心して利用できる体制となるよう、十分な人員計画の検討をお願いしたいと考えます。</p> <p>6. おわりに</p> <p>新市立図書館は、単なる施設移転ではなく、今後の市の知的基盤を形成する重要な事業であると考えます。図書館職員の方々はもとより、関係部署の職員、関係者、議員の方々の叡智を結集し、市内外に誇れる図書館が実現することを心より期待しております。</p> <p>以上、一市民の立場からの意見および提言として提出いたします。</p>	<p>警察や消防、警備会社との連携を密にするほか、職員による館内見廻り等により、防犯対策や防災対策を講じてまいります。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>蕨市新図書館整備基本方針において、「子どもも大人もほっとプレイスで知的探求の喜びを」を基本理念に掲げ、児童書コーナーの充実や中高生への配慮、駅直結という立地を生かした夜間開館などが示されている点について、大変意義深く評価しております。</p> <p>この基本方針をさらに良いものにするために、一人の市民として以下の点をパブリックコメントさせていただきます。</p> <p>①駐車場利用について</p> <p>子育て世代の視点から見ると、公共駐車場を利用する前提となっている点について、やや利用のしづらさを感じる可能性があるのではないかと考えられます。特に小さな子どもを連れて来館する場合、ベビーカーや荷物を伴うことも多く、車での来館を希望する家庭も少なくありません。(特に錦町在住者など図書館から距離のある場所に住んでいる市民)。滞在型の「ほっとプレイス」として時間を過ごすことを考えると、時間が経過するほどに高額になる駐車場使用料は心理的・時間的・経済的負担が重なり、来館のハードルにならないかが気になります。ぜひ駐車場利用料の軽減策も取り入れていただくと良いと思います。</p>	<p>区画内に整備される駐車(輪)場は、図書館専用ではなく、施設全体での共用になり、駅利用者を含めて、様々な方がご利用になることが想定されます。台数も限られておりますので基本的には有料としつつ、利用者の負担軽減の対応ができるのかどうか、今後、検討してまいります。</p>
<p>②ビジネスパーソン向けのサービス</p> <p>平日 21 時まで延長、月曜休館廃止、セルフ貸出・予約受取、駅近返却ポスト設置は蕨駅を利用するビジネスパーソンにとっても歓迎する施策です。これは私も高く評価しています。仕事や学業を終えた後にも利用できる図書館は、市民の学びを支える重要な拠点になると感じています。しかしながら、基本方針の中では、そのような利用者層へのサービスの考え方については、あまり触れていないように感じました。今後、夜間利用が定着していくことを考えると、あらかじめビジネスパーソンとしての利用者像を想定しておくことが、円滑な図書館運営にもつながるのではないのでしょうか。働く世代にとっては、夜間に静かに読書や調べものをしたり、自己研鑽やリスニング(学び直し)のために図書館を利用したりするニーズも考えられます。こうした利用は、図書館法に示されている「教養」や「調査研究」といった役割とも親和性が高いものですし、DX・AI による労働環境の変化に伴うリスニングにも重要と考えています。</p>	<p>新図書館は駅直結の立地となるため、通勤・通学者が帰宅時間に気軽に利用できるよう、平日の閉館時間を延長し、21時までとする予定です。閉館時間を延長することにより、ビジネスパーソンの方をはじめ、学生の方等の利用が増えることを見込んでおり、読書室や閲覧・学習エリア、郷土資料・参考図書コーナーも閉館までご利用いただけますので、大いに自己研鑽やリスニング、調査研究等を行っていただきたいと考えております。</p> <p>限られた紙面の基本方針の中では表記しておりませんが、カフェコーナーと一体となった新聞・雑誌ラウンジや窓に向かって集中できる閲覧席等の設備面はもちろん、自己研鑽やリスニングのための本を集めた特集コーナーを作る等のサービス面からもビジネスパーソンの利用者を応援していきたいと考えております。</p>

③選書における市民協働

上記に関連して、子育て世代でありかつ働く世代に向けて、リスキリング(学び直し)や自己研鑽に資する分野も含めた選書の充実についても、検討の余地があるのではないかと感じました。その際、司書の専門性を基盤としつつ、30代・40代の子育て中のビジネスパーソンなど、利用当事者である市民の視点を取り入れる「市民協働による選書の仕組み」を一つの方法として検討していただくことも、新図書館ならではの取り組みになるのではないのでしょうか。蕨市在住の市民には、ビジネスの最前線で活躍している市民(男性・女性を問いません)が多いはずで、こうした方たちの知見を生かして、新しい図書館が「子育て世代×働く世代」というライフステージにある市民を応援する役割を担うことを期待しています。

④多文化共生の視点

蕨市の特性である「外国籍住民が人口の約12%を占め、多国籍化が進んでいる」という状況を踏まえると、多文化共生の視点が、現時点の基本方針ではやや控えめに触れられているようにも感じられました。これは決して不足という意味ではなく、新図書館が今後さらに発展していくうえで、大きな可能性を秘めた分野ではないかと考えています。図書館は、言語や制度の壁が比較的安く、誰もが気軽に立ち寄りことのできる公共施設であることから、外国籍住民にとっても、日本での生活や学び、子育てを支える重要な拠点となると考えています。多言語資料や日本語学習に関する情報、外国籍の親子が利用しやすい環境づくりなどは蕨市の「多文化共生の視点」から重要と考えます。

以上、蕨市立図書館を30年近く利用させていただき、そして図書館を応援している市民そして蕨市の納税者としてコメントさせていただきます。新しい図書館がさらに素晴らしいものになることを願っております。

蕨市立図書館では、蕨市立図書館選書基準に則り、全ての分類を網羅し、構成比にも注意しながら選書を実施しております。市民要望の取り入れという観点については、リクエスト(購入希望)していただくという形で実施しており、なるべくご希望に添うよう努めております。「市民協働による選書の仕組み」については、効果や課題等を調査研究してまいります。

蕨市立図書館の規模を考えると、外国籍の方の利用のために外国の本を豊富に揃えるということは難しく、外国籍の方が日本の文化や言葉を知るための本を中心に収集しているところです。また、日本人が外国を知るための本については充実を図っておりますので、新図書館においては特集コーナーを設置する等によって多くの方の目に留まるよう、工夫してまいります。

意見の概要	市の考え方
<p>図書館をよく利用させていただいている者として、新図書館をとっても楽しみにしています。先日、その整備基本方針と具体化しつつあるフロア配置を拝見し、更にワクワクしてきました。そしてこの案の段階で、市民の意見を募集して下さることに感謝です。</p>	<p>新図書館では、基本理念を「子どもも大人も ほっとプレイスで知的探求の喜びを」と定め、新しいことを知る、まさにワクワクしていただくことを大切にしていきたいと考えております。</p>
<p>①できるだけ開架式として多くの本を並べてほしい。実際に手にとって幅広い本と出合いたい。</p>	<p>新図書館は、現図書館に比べて書架スペースが広くなり、多くの本を開架に並べることができるようになります。</p>
<p>②子どもエリアとは別に赤ちゃんエリアを設けてほしい。靴を脱いでヨチヨチ裸足で歩いたり、ハイハイできる暖かく清潔にしやすい床素材で。「グズった時の鳴き声が迷惑になりそうで利用できない」、「すぐなめるので衛生面が心配」等の親御さんの声を聞くので、コーナー内に消毒器設置、又、大声の時は閉められる(区切れる)ような扉も。コーナーは透明アクリル等で安全で、他の年齢層の人たちが可愛い姿を目にできるように。</p>	<p>新図書館の子どもエリアには、靴を脱いだ状態での利用を想定した10cm程度高くなった小上がりスペースを設けており、赤ちゃん連れの方を中心にご利用いただけます。なお、子どもエリアは多少音を立てても奥の閲覧席で読書や勉強している利用者が気にならないような配置となっております。また、職員のいるカウンターの目の前に配置しておりますので、子どもたちの安全性を最大限配慮としたレイアウトとなっております。</p>
<p>③赤ちゃんエリア(できれば子どもエリアも)は断然子どもたちが大好きな電車が見える線路側に。数年後には貴重な利用者になる赤ちゃんや子どもたちが行きたくなる場所に！！</p>	<p>フロア配置については、ワークショップ等でも線路の見える所に子どもコーナーをとの要望をいただいておりますが、線路、ホームとの間にバックヤードを挟むことで騒音対策とするため、子どもコーナーを含む全ての利用者のエリアは、線路の反対側になります。</p>
<p>④優れた絵本は子どものためだけでなく、青少年や大人にとっても、心の成長や癒しとなることが、近年、専門家やジャーナリストたちによって言われている時代です。そこで、年代に応じてその時々テーマを設け、それに沿った絵本を各エリアに置いていただきたい。以上です。よろしく願いいたします。開館日を楽しみにしております。</p>	<p>絵本はもともと大人にも人気があり、また、いわゆる大人に「刺さる」絵本というものも好評でありますので、特集コーナーを設ける等、青少年や大人にも癒しを提案してまいります。</p>

No.20 9件

意見の概要	市の考え方
<p>①機能が充実してフロアレイアウトも使いやすそうで楽しみです。子供エリアがカウンターの目の前なのは安全性が高くて良いです。読書室が奥で目が届きにくいのは心配です。以下、要望です。</p>	<p>図書館は一般的に多くの本を所蔵することに意識しがちでしたが、新図書館では基本理念を「子どもも大人も ほっとプレイスで知的探求の喜びを」と定め、全ての利用者に豊かなときを過ごしていただく場所にしたいと考えております。安心してご利用いただくために、職員の巡回や防犯カメラの設置等を検討しており、死角が生じないように努めてまいります。</p>
<p>②駅東口近くにも返却ポストが欲しい。</p>	<p>駅東口近くの返却ポストの配置や、予約貸出ロッカーの設置については、スペースや位置、費用対効果等を総合的に勘案し、調査研究してまいります。</p>
<p>③予約本貸し出しロッカーが欲しい。夏期は開館時間には既に暑いので早期に受け取りたい。</p>	<p>本の予約は、所蔵資料については館内に設置している資料検索機から直接予約いただけます。なお、新図書館でも同様の取り扱いとなります。</p>
<p>④本の予約を検索機レシートでできるようにしてほしい。</p>	<p>予約線下機能については、ご意見を参考のうえ、図書館システムの事業者に要望してまいります。</p>
<p>⑤予約線下できるようにしてほしい。</p>	<p>資料を購入するかどうか、特に発売から間もない新作は、非常に過密な日程で選書しており、事前の告知はできかねますので、ご理解ください。紙での予約は資料発売日からお受けしておりますが、Web からご予約される場合、資料発売日から選書期間を経る等、システムに蔵書登録されて予約ができるようになるまでタイムラグが生じます。</p>
<p>⑦リクエストは利用者番号と名前と電話番号のみで住所不要にしてほしい。</p>	<p>リクエスト(購入希望)ができるのは蕨市在住の方のみとなることから、住所欄については実務上必要となりますので、ご理解をお願いします。</p>
<p>⑧書棚から取った本をまとめて戻せる返本棚がほしい。</p>	<p>返本棚の導入については、新図書館では設置する方向で検討してまいります。</p>
<p>⑨新しめの本でも汚れていることが多いので「たいせつに」といった曖昧表現ではなく、本を読む前の手洗いや食べカスなどを挟まない、本を図書館の床に置かないよう周知してほしい。</p>	<p>皆様に気持ち良くご利用いただくため、図書館の本の扱いに対する注意喚起や館内マナー、ルール等の周知はしっかり実施していかなければならないと認識しております。ご意見を参考のうえ、一層の周知に努めるとともに、より効果的な方法を検討してまいります。</p>